**令和6年期（2024）南連協おとな部会＃２議事メモ**

日　時：令和6（2024）年8月20（火）　13：30から14：45まで

場　所：東林公民館　第一小会議室

出席者：「YELLOWS」横内さん、「ひかり」棚橋さん、「まるさき福祉会」中館さん、土井さん、

「アトリエ」磯部さん、「あんじゅ」城平さん、「ココルポート」藤原さん、事務局　村田

**＜論議結果＞　横内さん/棚橋さんの合作『南連協による成人向けサービス合同説明会』（①）**

**横内さんの『共同生活援助を例にした個別説明資料ひな形』（②）**

**棚橋さんの『アンケート案』（③）に基づき論議　（それぞれ：添付）**

**1：今回の合説＃１の声かけ（説明）対象者**

　むやみやたらに広げず小さくから始める。情報が乏しいと思われる特別支援学校に行けない高校生のお子さんについて取りこぼさないようにしたい。第一回は南連協の会員事業所

（放課後等デイサービス、生活介護、相談支援等経由）に通われておられる保護者の方々に声掛けをして、繋がりが強い方々に絞る。その上で、アンケートの回収を100％にして、ニーズ発掘につなげたい。

　【論議】

　一口に生活介護といっても、グループホームといっても個々に千差万別。南連協のつながりがあるから個別に相談にものれる。

　現在、使っている所しか知らない人も多いので、本人にもっとふさわしいところがあるのをみつけるきっかけになって欲しい。

**２：合同説明会の概要（冒頭）説明資料（①）について**

　横内さん・棚橋さんの今回のゲラをベースに、下記の意見を踏まえながら、

次回までに横内さんが一気通貫にVTR的にしたパワポで作ってみる。

　この概要版の次に、（または、概要版の中に）個々の事業領域毎の説明を加える方式としてい

く。

　今回まで欠けていた、個々の事業を縦串で繋ぐ＜相談支援＞を加える。

**３：個別事業の説明（②）について**

横内さんの**『共同生活援助を例にした個別説明資料ひな形』（②）の類を分担してつくる。**

**上記２項の横内さんのVTR的全体説明パワポに沿うように案を作る。**

**資料作成体制を（会議後個別調整し下記としました）、**

**＜生活介護作業部会＞…　土井さん、磯部さん中心で対応**

**＜訓練系・就労系作業部会＞…　藤原さんを中心で対応**

**＜共同生活作業部会＞…　赤名さんを誘って、横内さん中心で対応、**

**＜訪問系作業部会＞…　土井さん中心で対応、**

**＜相談系作業部会＞…　城平さんと磯部さんで相談して対応**

**【論議】**

「生活介護」、「就労継続支援Ｂ」といってもひとくくりに出来ない，個々に特徴がある。

　将来的には、別日程の第二部で詳しい説明がいるかも。

単なる制度説明でなく、ライフスタイルから入りたい。

保護者の方々は、ある程度の情報を知っているのでは？と思うので、楽しさを知ってほしい。

生活や活動・暮らしについて「行きたい」「やってみたい」と思えることを伝えたい。

事業所目線で話をするのでなく‥というのをもう少し考えていきたい。

お母さんたちに分かりやすい分類で、

＜お金を稼ぎたい系（ご両親にプレゼントができる！）…　A型＞、

＜お金は稼げないけど生活を楽しみたい系　…　生活介護＞　等々

「相談支援」事業の説明が抜けている。事業ごとにくくられているものをコーディネートし

てくれる（今日のパワポの事業一覧の横並びに対して、縦串を通すような位置づけ）、使えな

いと思っていたけど使えるものがある、親なき後に繋がるコーディネートができる、等々

親御さんに伝えたいことがある。これらの説明は学校の説明には無い！

また、福祉サービスプラスアルファ（訪問など）も提示できる等々。

を伝えられるようにしたい。

（但し、訪看や訪問診療は競争が高くなっているので、無理やり使うように誘導する事にはならないように気を付ける必要がある）

**４：アンケート案について（資料③）**

極力軽いものにして、100％回収を目指す。また、南連協のつながりの方のみの為、

フォローがしやすいので次回以降の方向を決める重要な参考情報とする。

手法は、グーグルフォームを主にし、難しい方々には紙媒体で補完としたい。

**５：説明会の開催方法**

　今回はまず、＜**事業**説明会＞。これに続く（事業所説明会）はアンケートの結果を

　もとに、追加するか考えていく。

　行政と違い、やわらかい雰囲気で実施したい。

　将来的にはお祭りに組み込んで楽しくするのが良いのではないか　etc.

**６：次回開催日時**

　2024年9月25日（水）13：00～　東林公民館（今回と同じ）

　　　　　　　　　　　　　　　　　（いつもより30分繰り上げています。）

　当日までの間にあと数回打ち合わせが必要なので、横内さんから声をかける。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（村田　記）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（棚橋さんの速記録を参考に編集）